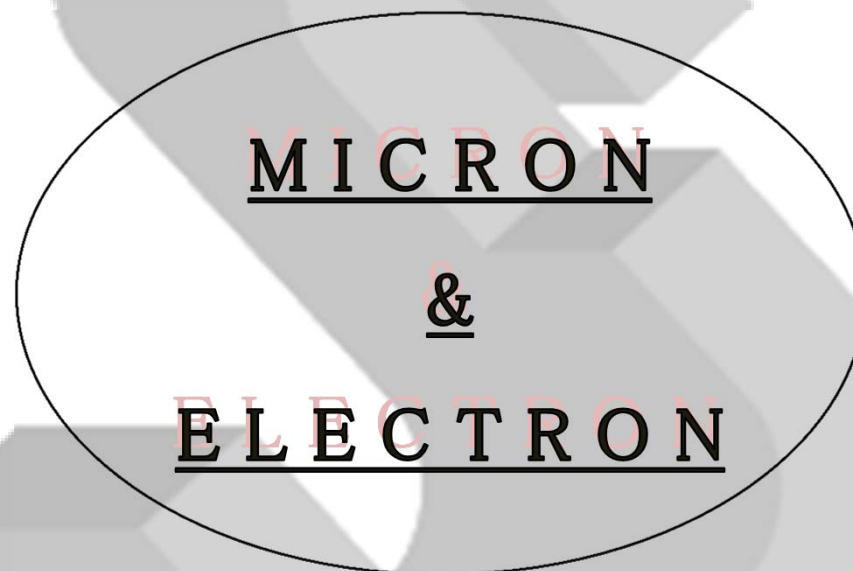


株式会社 鈴木

2019年6月期
決算説明資料

August 23, 2019



SUZUKI

SUZUKI CO.,LTD.

東証一部 code:6785

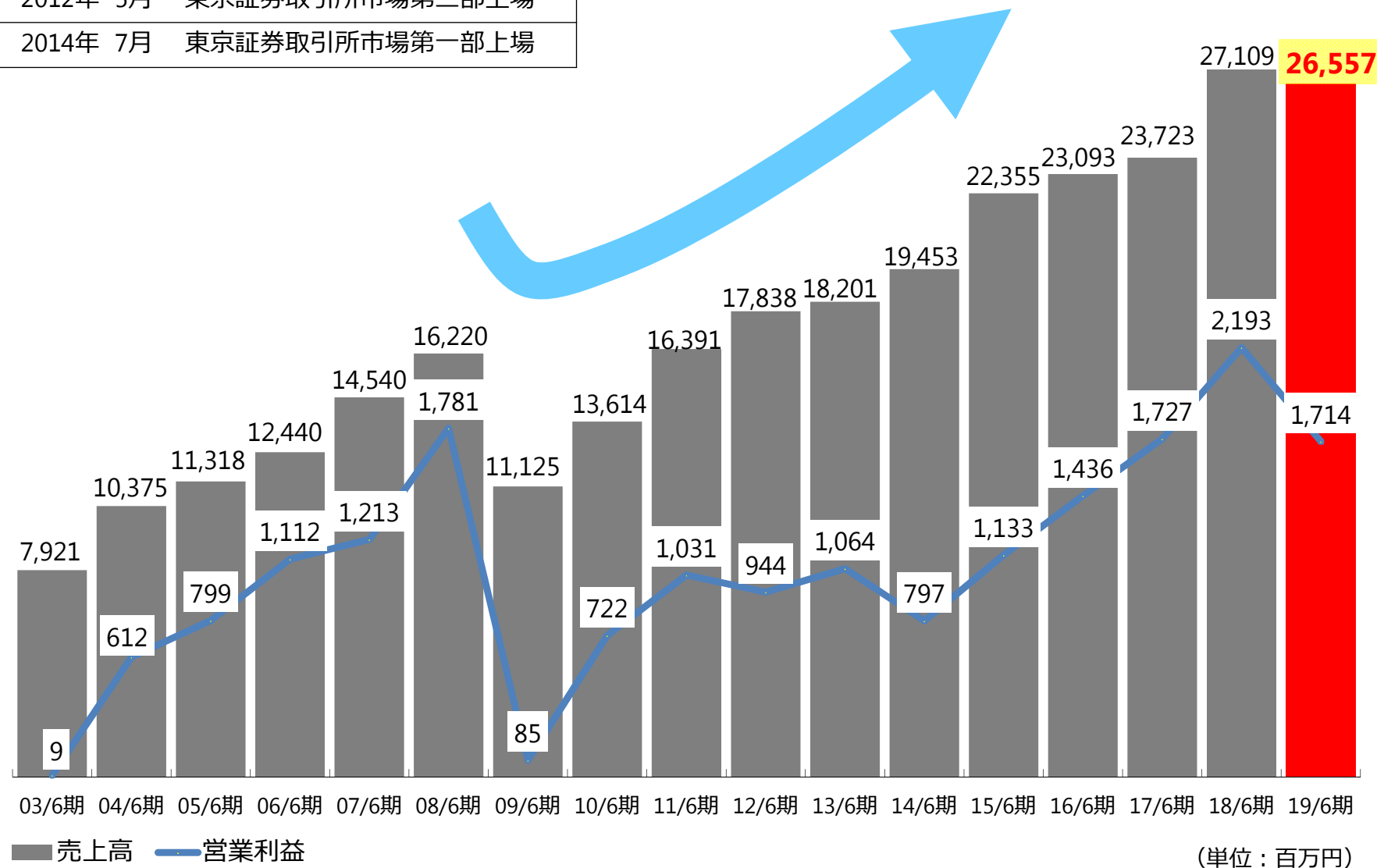
A horizontal rectangular area with a light-colored, marbled background pattern, containing the title text.

2019年6月期 業績説明

成長の軌跡

2

2001年 2月	株式店頭登録（現JASDAQ）
2012年 5月	東京証券取引所市場第二部上場
2014年 7月	東京証券取引所市場第一部上場



連結損益計算書

3

- 2019年6月期は前期比で減収減益
- 部品セグメント
電子部品コネクタは主力のスマートフォン向け需要が低調に推移
自動車電装向け部品コネクタは堅調を維持
- 機械器具セグメント
医療器具は順調に拡大し増収増益

(単位：百万円)

	2018年6月期		2019年6月期		増減	
	金額	売上比%	金額	売上比%	金額	増減比%
売 上 高	27,109	-	26,557	-	△552	△2.0
売 上 総 利 益	4,016	14.8	3,681	13.9	△334	△8.3
営 業 利 益	2,193	8.1	1,714	6.5	△479	△21.8
経 常 利 益	2,206	8.1	1,711	6.4	△494	△22.4
親会社株式に帰属する 当 期 純 利 益	1,176	4.3	897	3.4	△279	△23.8

連結事業別セグメント情報

4

セグメント別売上高 計画と実績

※計画は期首数値

(単位：百万円)

	2019年6月期 計画		2019年6月期 実績		増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	%
■ 金型	1,759	6.2	1,594	6.0	△165	△9.4
■ 部品	21,761	76.3	20,055	75.5	△1,706	△7.8
■ 電子部品コネクタ	14,005	49.1	11,939	45.0	△2,066	△14.8
■ 自動車電装部品コネクタ	7,755	27.2	8,115	30.6	360	+4.6
■ 機械器具	4,976	17.5	4,897	18.4	△79	△1.6
■ その他	11	0.0	11	0.0	0	0
合計	28,507	100	26,557	100	△1,950	△6.8

セグメント別売上高 前期比較

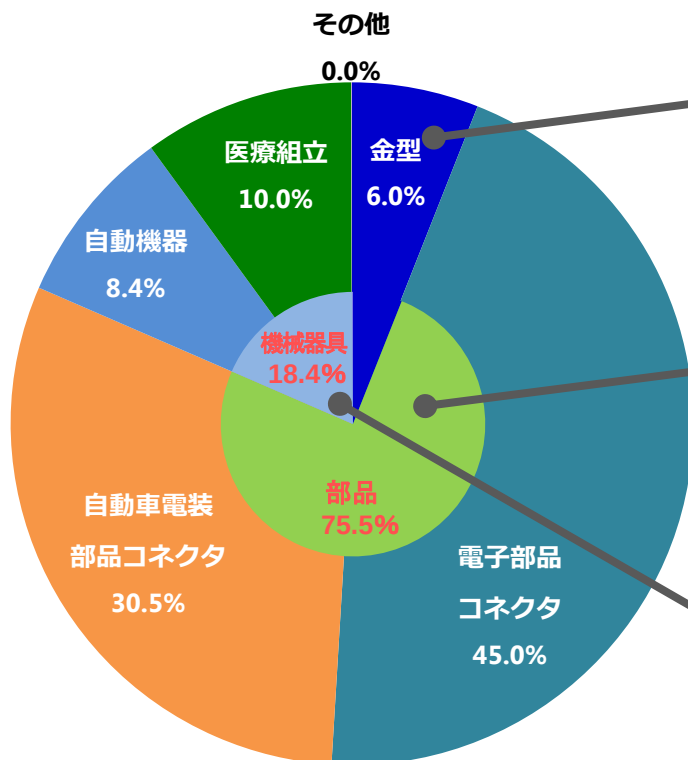
(単位：百万円)

	2018年6月期 実績		2019年6月期 実績		増減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	%
■ 金型	1,656	6.1	1,594	6.0	△62	△3.7
■ 部品	21,062	77.7	20,055	75.5	△1,007	△4.8
■ 電子部品コネクタ	13,542	50.0	11,939	45.0	△1,603	△11.8
■ 自動車電装部品コネクタ	7,519	27.7	8,115	30.5	596	+7.9
■ 機械器具	4,380	16.2	4,897	18.4	517	+11.8
■ その他	11	0.0	11	0.0	0	0
合計	27,109	100	26,557	100	△552	△2.0

連結事業別セグメント情報

5

2019年6月期 セグメント別売上高構成



【金型セグメント】

- 電子機器向け金型は多機能端末向けコネクタ用と車載コネクタ用が中心。自動車向け金型には試作用も含まれる
- セグメント売上高は1,594百万円、前年同期比△3.7%

【部品セグメント】

- 電子部品コネクタはスマートフォン向けと車載向けが中心で、当期はスマートフォン向け需要が減少
- 自動車電装部品コネクタは堅調に推移
- セグメント売上高は20,055百万円、前年同期比△4.8%

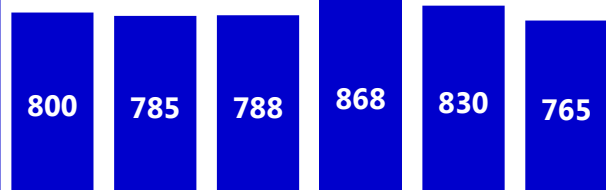
【機械器具セグメント】

- 自動機器は自動車関連装置と医療関連装置が中心で、前年同期と同水準で推移
- 医療組立は計画に沿って拡大
- セグメント売上高は4,897百万円、前年同期比+11.8%

金型セグメント

■ 金型

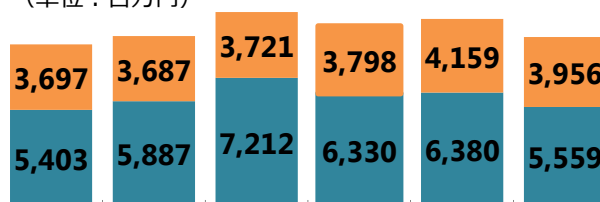
(単位：百万円)



17/6上期 17/6下期 18/6上期 18/6下期 19/6上期 19/6下期

部品セグメント

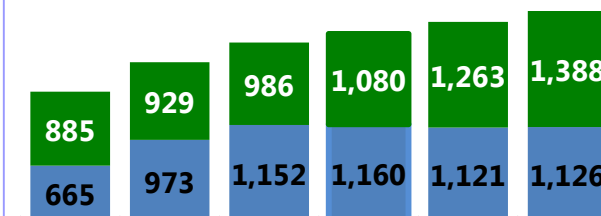
■ 自動車電装部品コネクタ ■ 電子部品コネクタ
(単位：百万円)



17/6上期 17/6下期 18/6上期 18/6下期 19/6上期 19/6下期

機械器具セグメント

■ 自動機器 ■ 医療組立 (単位：百万円)



17/6上期 17/6下期 18/6上期 18/6下期 19/6上期 19/6下期

連結貸借対照表

6

(単位：百万円)

	18/6期 期末	19/6期 期末	増減額
流動資産	11,676	10,441	△1,234
現金及び預金	3,284	2,553	△730
受取手形及び売掛金	5,443	4,788	△655
たな卸資産	2,648	2,840	192
固定資産	12,084	14,089	2,005
有形固定資産	10,116	12,187	2,071
無形固定資産	84	114	30
投資その他の資産	1,883	1,786	△96
資産合計	23,760	24,531	770
流動負債	5,426	5,765	338
買掛金	2,402	2,852	449
短期借入金+ 一年内返済予定長期借入金	1,726	1,718	△8
未払法人税等	556	294	△262
固定負債	2,257	2,116	△162
長期借入金	927	750	△141
純資産	16,075	16,649	573
負債及び純資産合計	23,760	24,531	770

財務体質は
健全な水準を維持

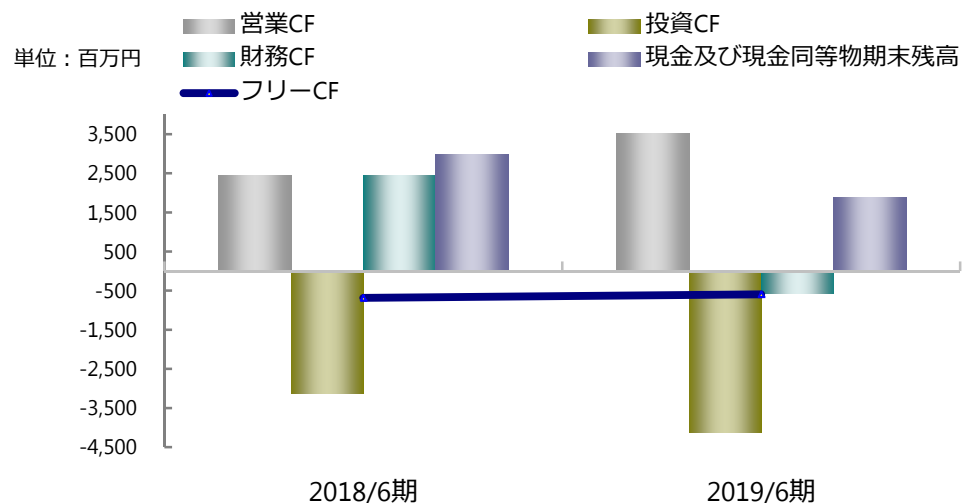
	18/6期 期末	19/6期 期末
短期借入金	1,245	1,303
一年内返済予定 長期借入金	480	415

有利子負債	18/6期 期末	19/6期 期末
	2,654	2,510

	18/6期 期末	19/6期 期末
流動比率	215.1%	181.1%
当座比率	160.8%	127.3%
固定比率	76.8%	86.6%
自己資本比率	66.2%	66.3%

連結キャッシュフロー計算書

7



【営業活動によるキャッシュフローの主な項目】

税 引 前 当 期 純 利 益	1,733百万円
減 価 償 却 費	1,625百万円
売上債権の増減（増加：△）	660百万円
たな卸資産の増減（増加：△）	△200百万円
仕入債務の増減（減少：△）	447百万円

【投資活動によるキャッシュフローの主な項目】

有形固定資産の取得による支出	△3,703百万円
----------------	-----------

【財務活動によるキャッシュフローの主な項目】

短期借入金の純増加額	16百万円
長期借入金の返済	△501百万円
配当金の支払額	△186百万円
非支配株主への配当金の支払額	△219百万円

(単位：百万円)

	2018/6期	2019/6期
営業活動によるキャッシュフロー	2,436	3,530
投資活動によるキャッシュフロー	△3,122	△4,126
フリーキャッシュフロー	△686	△596
財務活動によるキャッシュフロー	2,451	△565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	51
現金及び現金同等物の増加額	1,705	△1,110
現金及び現金同等物の期末残高	2,996	1,885

A horizontal rectangular area with a marbled paper texture, featuring swirling patterns of light beige, cream, and soft grey. The texture is dense and organic, resembling natural stone or aged parchment.

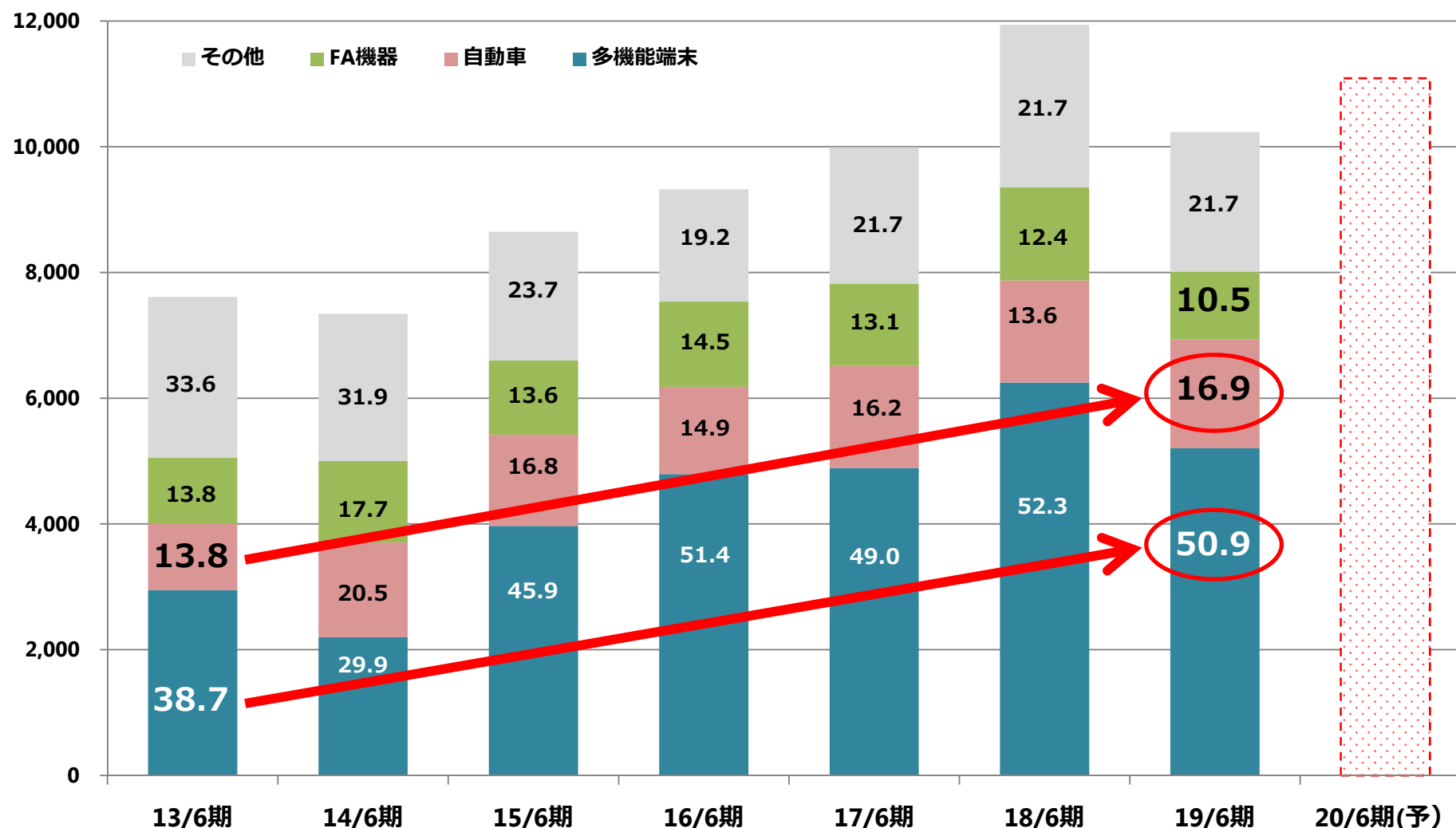
事業方針

モノ作りNo.1を目指して：電子部品コネクタ

独自技術と融合技術の深化

単位：百万円

電子部品コネクタ 用途別の売上比率（%）



モノ作りNo.1を目指して：自動車電装部品コネクタ

S&Sコンポーネンツ

事業セグメント

金型

部品

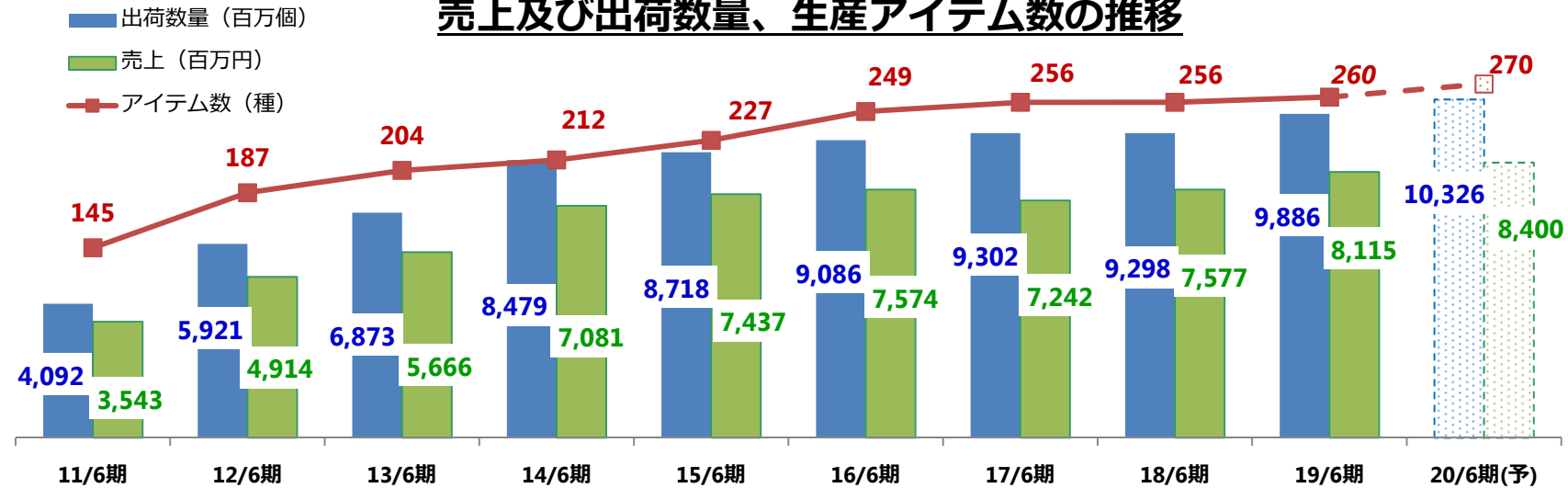
機械
器具

10

事業開始より 順調に事業拡大

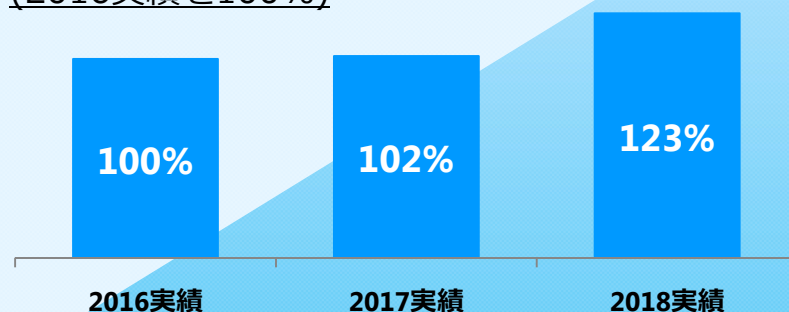


売上及び出荷数量、生産アイテム数の推移



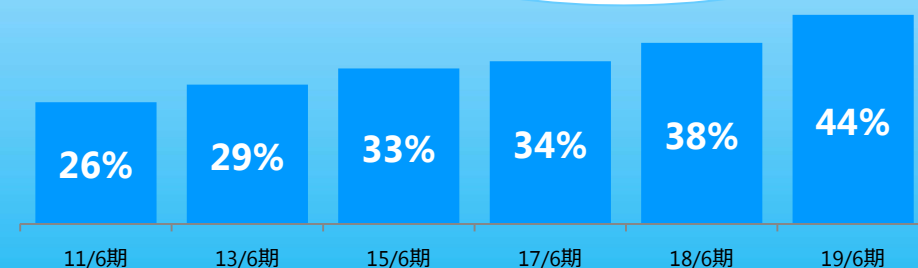
顧客のグローバル販売数量推移

(2016実績を100%)



顧客内シェア推移

金型技術、量産技術を背景に
国内シェア拡大

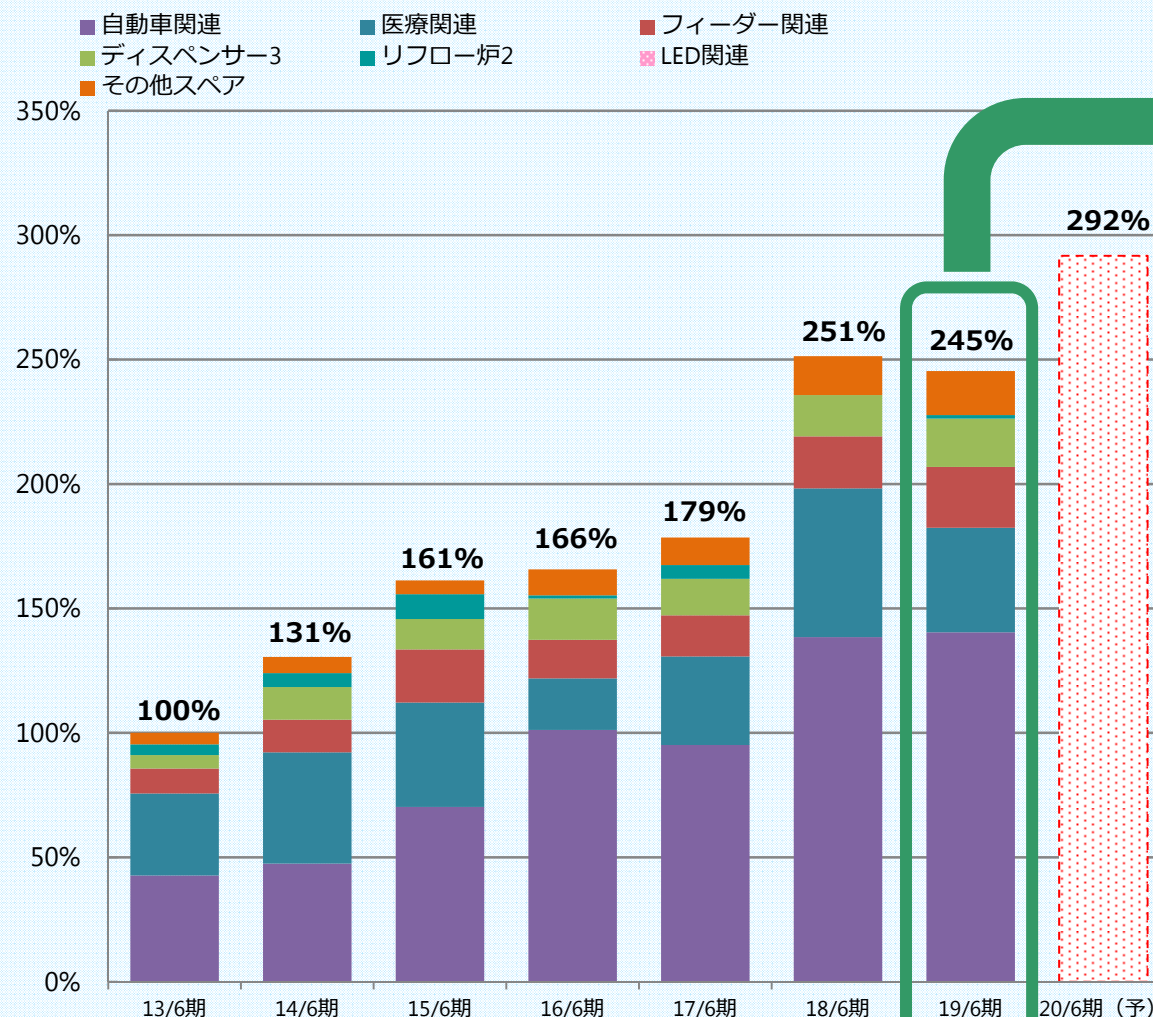


※ 顧客の国内の外注先における生産数量から算出

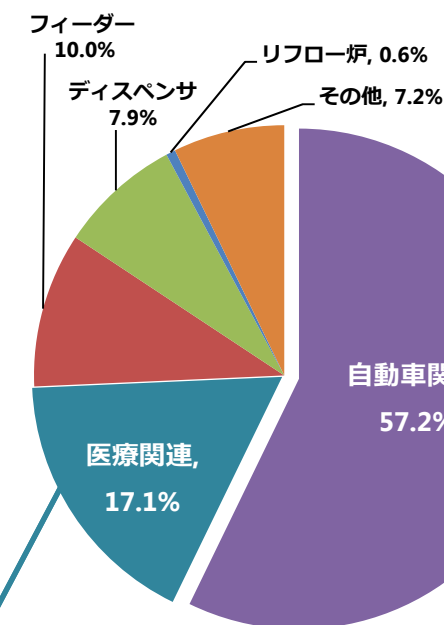
モノ作りNo.1を目指して：機械器具（自動機器）

技術力・提案力を活かし新たな分野にもチャレンジ

売上推移（13/6期を100%）



19/6期 売上構成比率



医療関連

医療組立は自動化・省力化がさらに加速していく見通しです

自動車関連

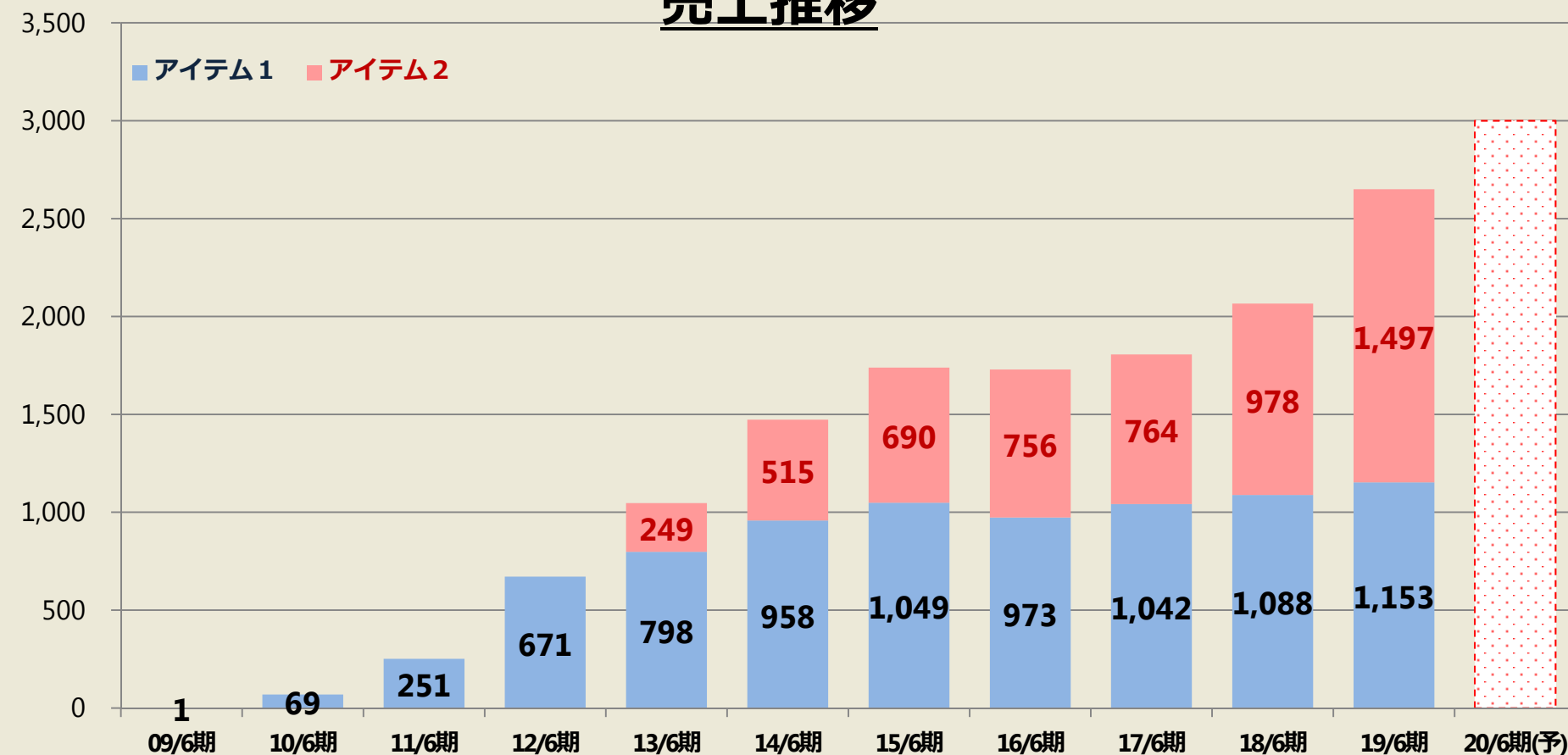
S&S-AT(住友電装との合弁子会社)を設立し、事業規模拡大を目指します。



モノ作りNo.1を目指して：機械器具（医療組立）

受注拡大により更なる安定事業に発展

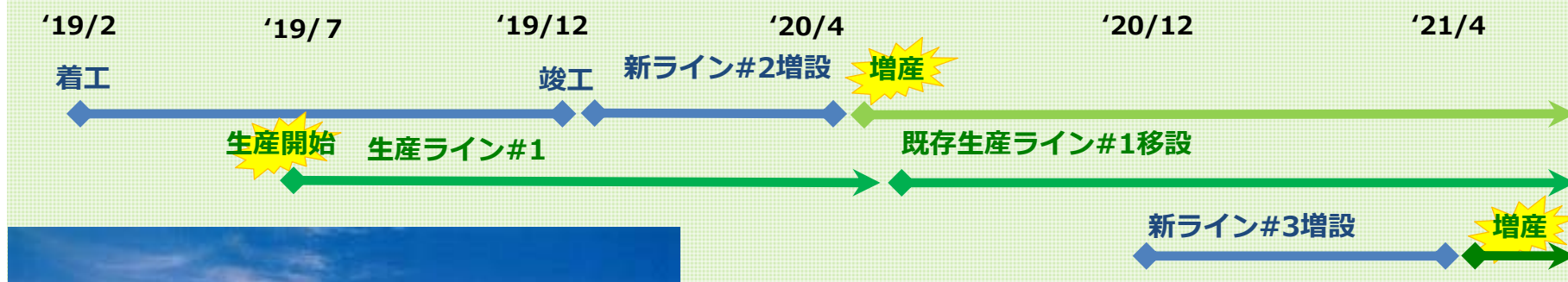
単位：百万円

売上推移2012年
アイテム2 生産開始2012年
アイテム1 生産ライン増設2017年 アイテム2
生産フロア拡充、ライン増設2019年 アイテム2
1品種追加、ライン増設

成長分野① 新たな事業の確立

★ Tier1（ティアワン）向け車載部品ビジネス
（2次電池向け部品事業を含む）

翫品量産工場の増築（日滝原第2工場建設に着手）

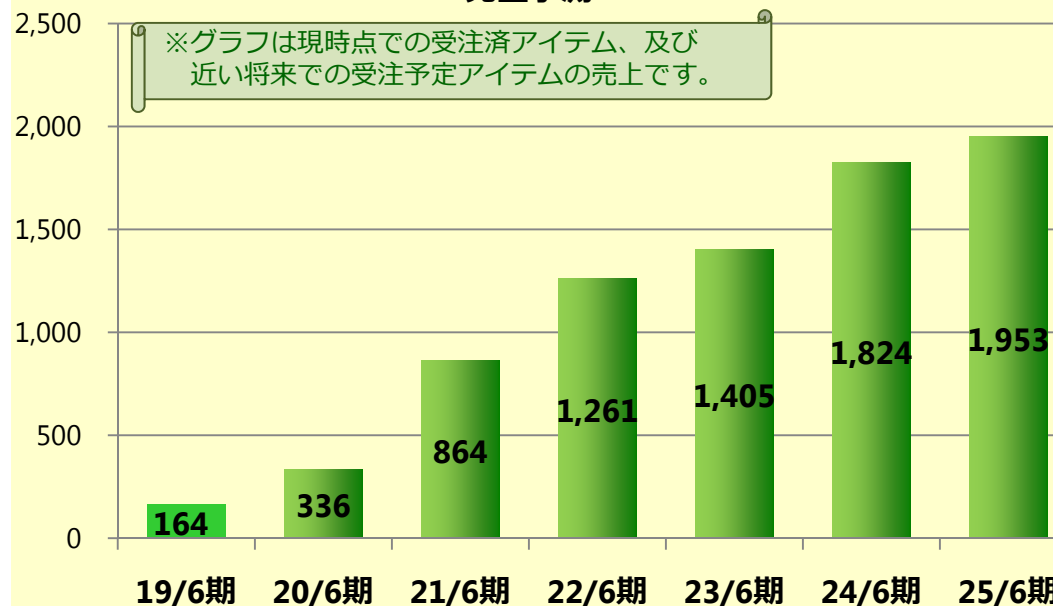


2次電池向け以外にも有力引合いあり！
→ビジネス拡大へ

今回案件を足がかりに各社へ営業展開

単位：百万円

売上予測



成長分野② 有力となる事業の拡大

事業セグメント

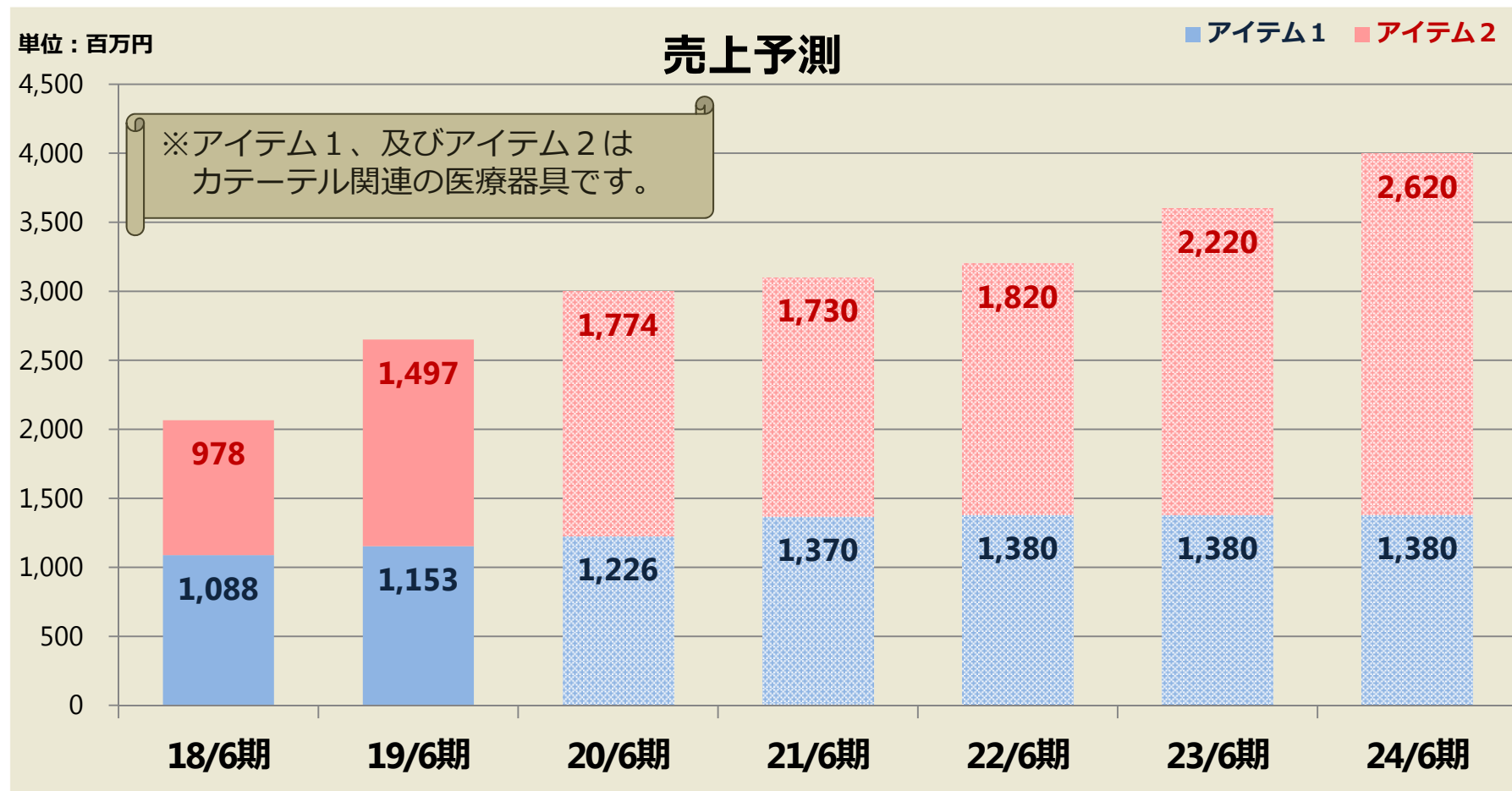
金型

部品

機械
器具

14

★ 医療組立の今後の展望について



19～21年は自動化設備の開発に注力し、増産体制を構築

21年10月より新工場での生産を開始

最新ニュース

Mini LED フリップチップ専用実装機
BDM-1000

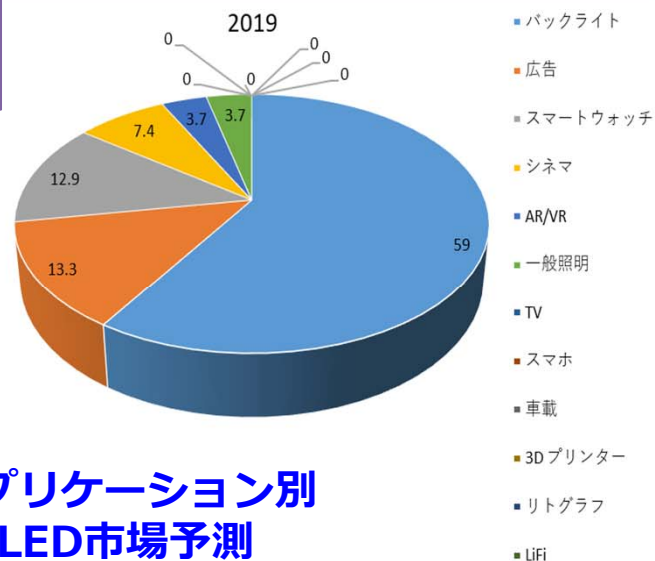
- ・ 要素技術:「転写方法及び実装方法」JP6543421 特許取得
<https://patentfield.com/patents?q=JP6543421>
- ・ Touch Taiwan 2019(8/28-30)にてBDM-1000を発表
<https://www.touchtaiwan.com/en/visitorSearch.asp?dtype=c&keyword=suzuki>
- ・ Int'l Micro LED Display Conference (8/29)に登壇し、
Mini LEDのフリップチップ実装について講演
<https://www.touchtaiwan.com/en/seminarDetail.asp?id=163>



自社ブランド装置 LEDフリップチップ実装機

LED市場

アプリケーション別 LED市場予測



Mini/Micro LED ユーザー

量産開始	Mini/Micro LED アプリケーション
2020	フルLEDバックライト
2023	RGBディスプレイ
2025	シネマビジョン
2030	透明ディスプレイ

Mini LED 実装機 メーカー	プロジェクト・ 製品名	国
Korea Institute of Machinery & Materials	Advance roll transfer	
Kulicke & Soffa + Rohhini	Pixelux	
ASM	Ocean project	
鈴木	BDM-1000	

今期、Mini LED フリップチップ実装機の販売を開始

今 期 の 見 通 し

通期連結業績見通し セグメント別

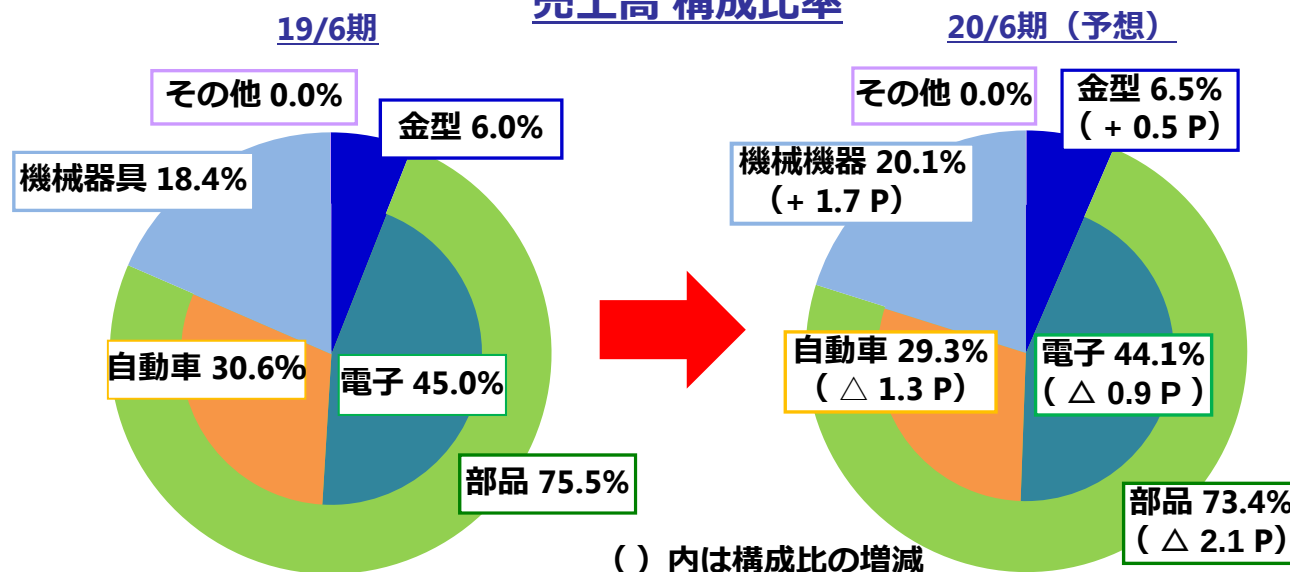
18

セグメント別売上高 前期と比較

(単位：百万円)

	2019年6月期		2020年6月期 予想		増減		
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	金額比%	構成比%
■ 金型	1,594	6.0	1,855	6.5	260	+16.3	+0.5
■ 部品	20,055	75.5	21,040	73.4	985	+4.9	△2.1
■ 電子部品コネクタ	11,939	45.0	12,640	44.1	700	+5.9	△0.9
■ 自動車電装部品コネクタ	8,115	30.6	8,400	29.3	285	+3.5	△1.3
■ 機械器具	4,897	18.4	5,763	20.1	866	+17.7	+1.7
■ その他	11	0.0	11	0.0	0	△4.5	0
合計	26,557	100.0	28,668	100.0	2,110	+7.9	

売上高 構成比率



今期のPoint

自動車電池部品の
量産開始

医療器具
増産体制の構築

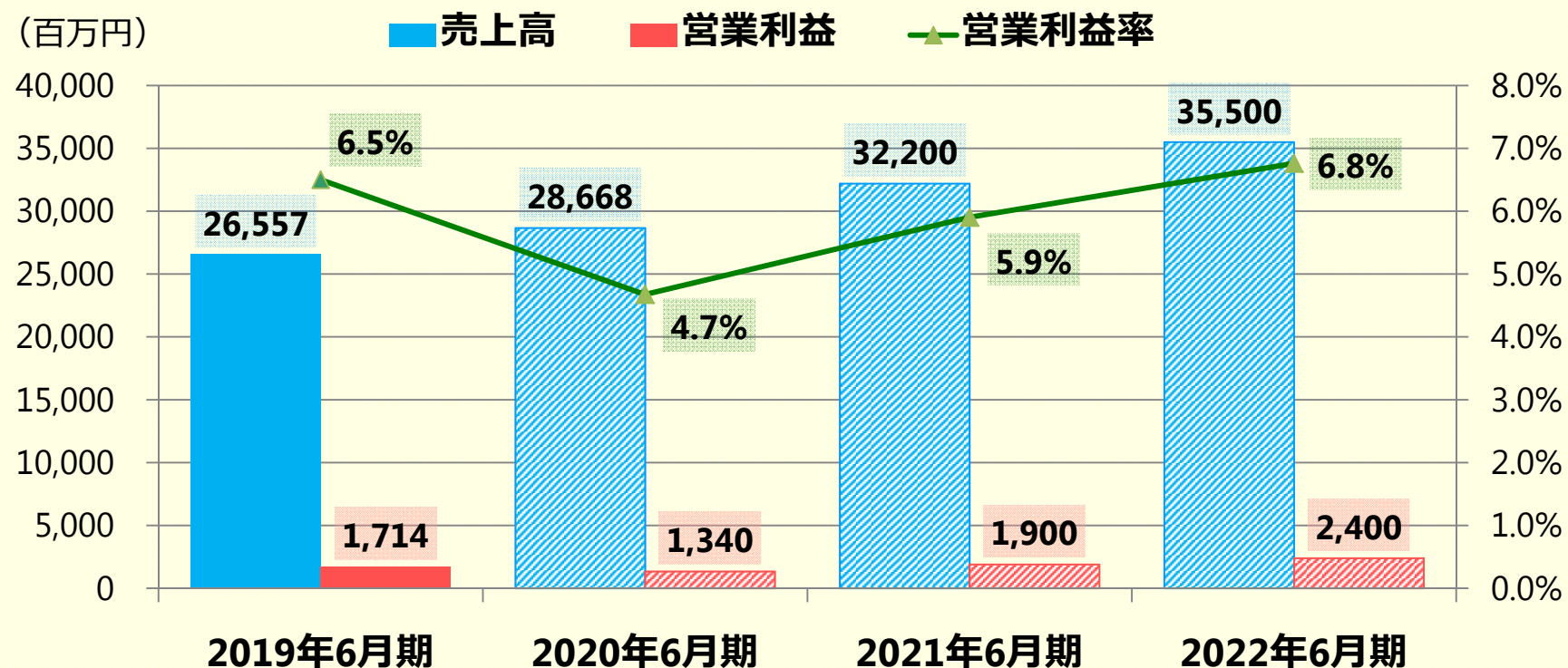
LEDフリップチップ実装機
販売開始

	2019年 6 月期	2020年 6 月期予想	増減率
売上高	26,557百万円	28,668百万円	+7.9 %
営業利益 下段：利益率	1,714百万円 6.5%	1,340百万円 4.7%	△21.8%
経常利益 下段：利益率	1,711百万円 6.4%	1,364百万円 4.8%	△20.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益 下段：利益率	897百万円 3.4%	668百万円 2.3%	△25.5%

中 期 見 通 し

連結業績見通し（売上高、営業利益）

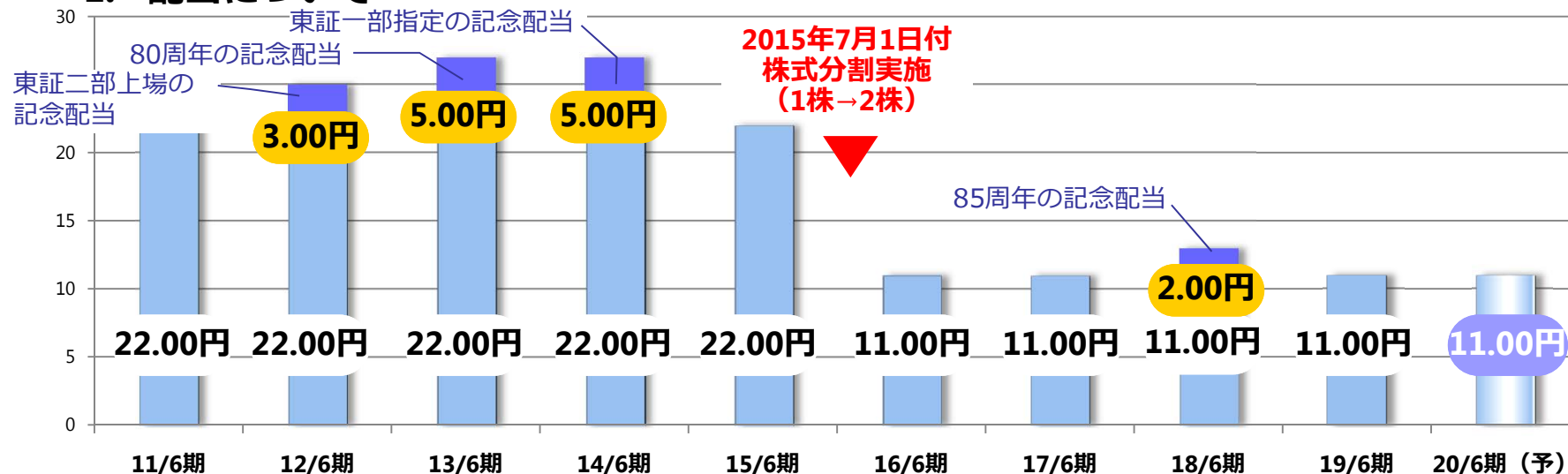
21



2019年6月期 ⇒ 2022年6月期 売上増加率

- ・ 部品(電子) +20% ⇒ 車載向け部品アイテムの拡大
- ・ 部品(自動車電装) +10% ⇒ 堅調に推移
- ・ 機械器具(自動機) +200% ⇒ 自動車&医療関連装置の需要増加、LEDフリップチップ実装機の拡販
- ・ 機械器具(医療) +20% ⇒ 新工場生産開始で増産
- ・ 金型 +30% ⇒ 技術力の底上げでキャパUP

1. 配当について



2. 株主優待について

■ 2019年6月30日を基準とする株主優待内容

保有株式数	継続保有期間	優待内容
200株以上1,000株未満	半年以上	1,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ
1,000株以上	半年以上	2,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ

■ 2020年6月30日以降を基準とする株主優待内容

保有株式数	継続保有期間	優待内容
200株以上1,000株未満	1年以上	1,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ
1,000株以上	1年以上	2,500円相当の地元名産お菓子詰め合わせ

Being an “Only-One Company”

本資料は、2019年6月期 第2四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2018年12月末時点のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ

ir2006@suzukinet.co.jp

代表取締役社長
取締役専務執行役員



A horizontal rectangular area with a marbled background pattern in shades of grey and white. The text "參考資料" is centered within this area.

參考資料

経営理念		「不への挑戦」		微細金型技術の徹底的な精度追求 = 不可能への挑戦	
商号	株式会社鈴木	英語名：SUZUKI CO., LTD.			
創立	1933年6月10日				
本社	長野県須坂市大字小河原2150-1				
上場	2001年2月16日 JASDAQ 2014年7月31日 東京証券取引所市場第一部	証券コード：6785			
代表者	代表取締役社長 鈴木 教義				
事業内容	電子部品コネクタ、電子部品搭載装置、半導体関連装置、各種精密プレス金型・モールド金型 および医療関連器具の製造・販売				
資本金	24億3,747万円				
発行済株式数	14,390,000株（100株単位）				
関連会社	【連結子会社】 国内：S&Sコンポーネンツ株式会社（持株比率：51.0%）、S&Sアドバンステクノロジーズ株式会社（持株比率：51%）、中国広東省：鈴木東新電子（中山）有限公司（持株比率：80.0%）、中国香港：鈴木東新電子（香港）有限公司（持株比率：80.0%）、インドネシア共和国：PT. SUGINDO INTERNATIONAL（持株比率：99.9%）、PT. GLOBAL TEKNINDO BERKATAMA（持株比率：93.6%）				
従業員	【連結】 865名	【単体】	507名	※ 2019年6月末現在	

株主の状況

(2019年6月末日現在)

26

●大株主情報

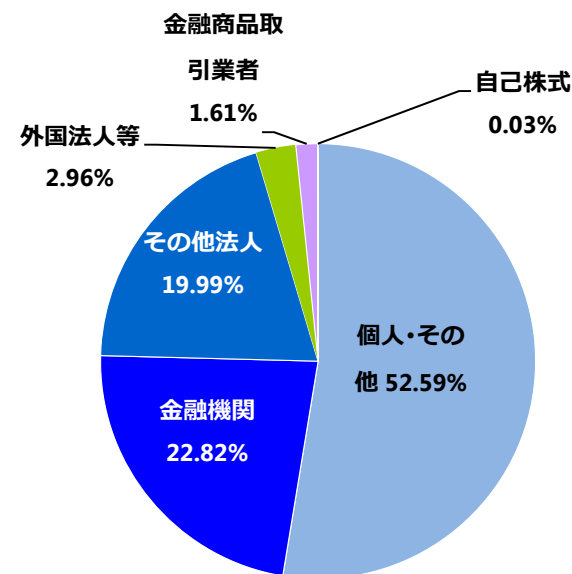
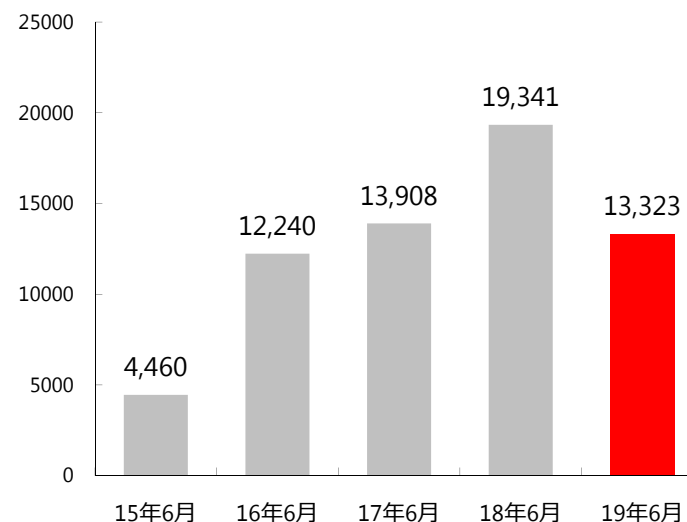
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社スズキエンタープライズ	2,272,600	15.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,134,100	7.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	879,500	6.11
鈴木従業員持株会	622,004	4.32
鈴木 教義	349,440	2.43
株式会社八十二銀行	310,000	2.15
高野 忠和	295,200	2.05
小島 まゆみ	208,000	1.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	189,900	1.32
株式会社商工組合中央金庫	160,000	1.11

※持株比率は、自己株式(4,457株)を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況

	株主数 (名)	株式数 (株)	株式数分布比率 (%)
個人・その他	13,153	7,566,999	52.59
金融機関	21	3,283,900	22.82
その他法人	67	2,877,203	19.99
外国法人等	59	425,427	2.96
金融商品取引業者	22	232,014	1.61
自己株式	1	4,457	0.03

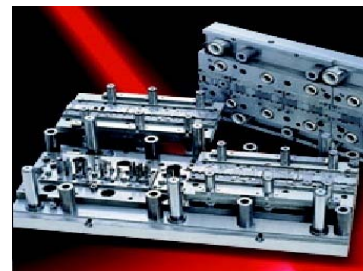
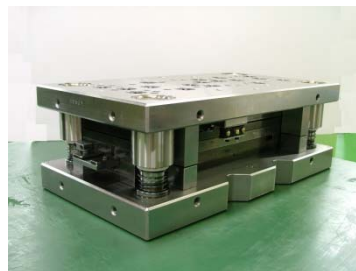
●株主数の推移



金型： ～長年の研鑽による匠の技：当社のコア技術～

業界最高レベルの
精密金型の設計・製造

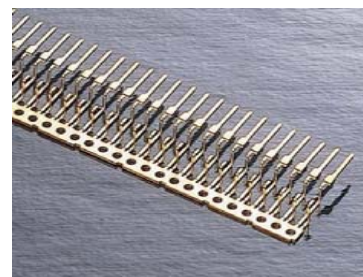
売上構成比：6.0 %



部品： ～金型を用いた精密部品の量産加工～

電子部品や自動車
電装部品の量産加工

売上構成比：75.5 %



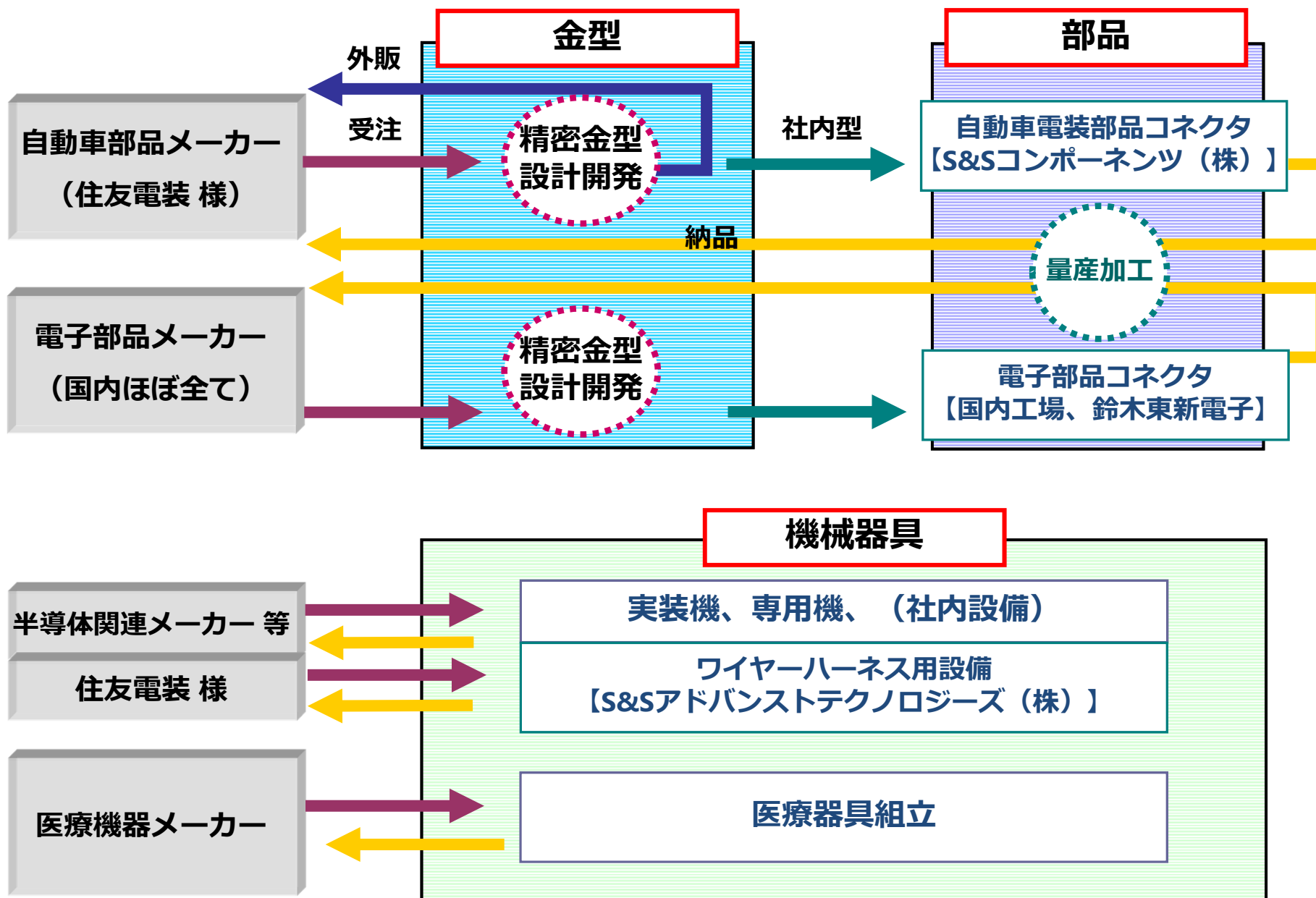
機械器具： ～金型・部品事業で培った技術ノウハウの応用～

実装機や省力化機器の
設計開発
医療関連器具の組立

売上構成比：18.4%



※ 売上構成比：2019/6期の数値

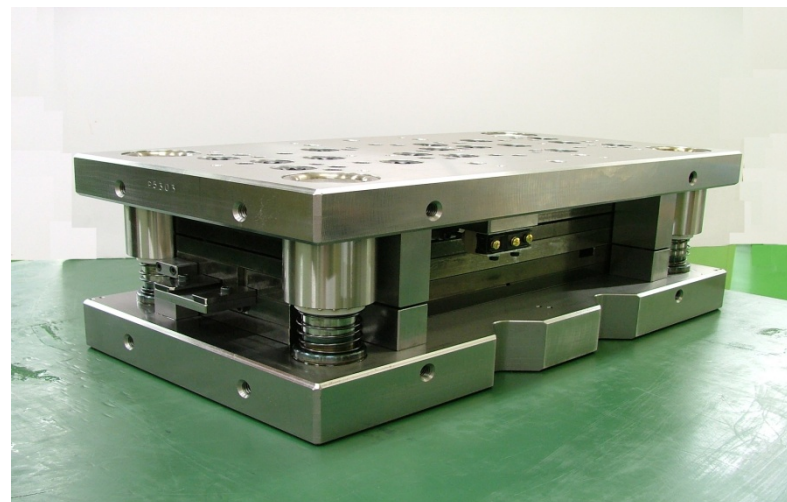
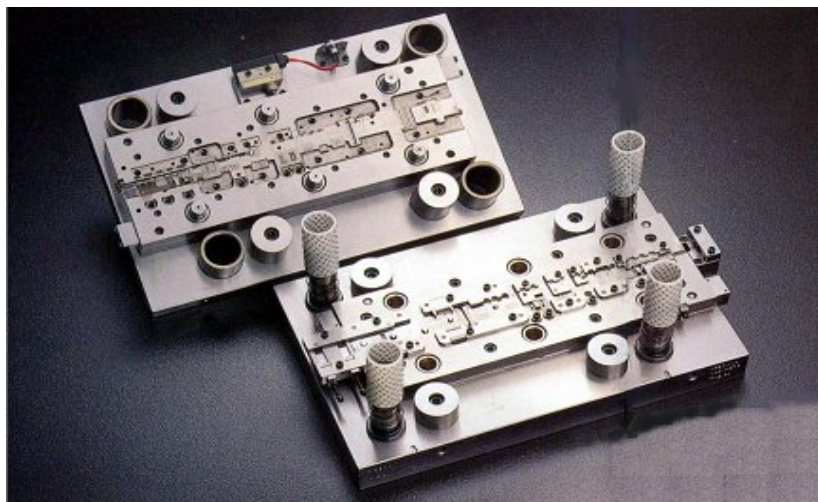


当社のコア技術である「金型」と「プレス量産加工の工程」

29

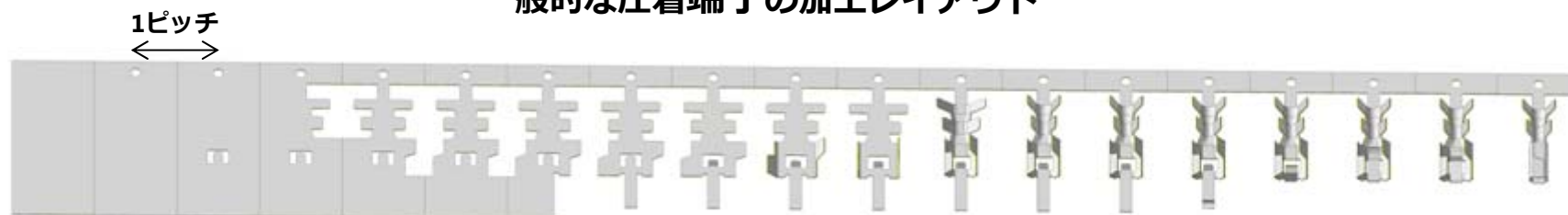
「金型」

精密コネクター金型の外観（上下別、全体）



「プレス加工」

一般的な圧着端子の加工レイアウト



1ピッチずつ順送りして、抜き・曲げ等のプレス加工を行う